

チーム名	小林ゼミ	大学・学部	北九州市立大学	長崎のしまステージ
プラン名称	UKU Book Tourism			
リーダー名	杉山綾香	テーマ	※選択したテーマに○をつけてください。 ( ) ①「しま」ならではの「観光まちづくり」 (○) ② 島がうるおう「観光まちづくり」	本選出場 観光庁長官賞 オーディエンス賞
指導教職員名	小林敏樹			
メンバー名	三宅ひふみ(サブリーダー)・大城楓香・豊岡亮司・中村阿沙美・三宅有紀			

## 私たちの考える観光まちづくり

私たちは、観光によって観光客が楽しむこと、観光客と住民のつながりができることだけではなく、住民同士のつながりがより一層深くなっていくこと、そこから島に活気が出ることを含めたものを観光まちづくりであると考えている。

## 新規性

今話題の「本」と「シェアリングエコノミー」を合わせた『本×シェアリングエコノミー』。これを、観光に擦れていない島「宇久島」ならではの『エリアコミュニティ』に落とし込み、本というテーマのもと人と人との繋がりをうるおわせていく。

## 見込まれる効果

- ◎島外とのつながりだけでなく、島内のつながりが生まれる
- ◎持続可能なまちづくり  
一過性の大きなイベントではなく10年20年と続けられる企画
- ◎関係人口、交流人口の増加  
本を通じてつながる人の輪が広がる
- ◎地縁コミュニティからテーマコミュニティの創造  
その地域に住む人によって作られるコミュニティだけでなく、興味のあるテーマに引き寄せられて作られるテーマコミュニティの実現
- ◎教養の向上  
多くの本に触れることで知識が増え、それを共有することで教養を広げる
- ◎新たなアクティビティの創出

## 【提案プラン】

### 宇久島の課題

- ・島に図書館、書店がない
- ・雨天時、宇久島で楽しめる場所がない

→ 宇久島にあるもので、資源(本)を掘り起こす

## UKU Book Tourism

- ・島民に自分の持っている本を準備してもらう
- ・家や店舗、お寺などに本棚とベンチを設置する
- ・本棚に本を並べて、島民や観光客が自由に読めるようにする

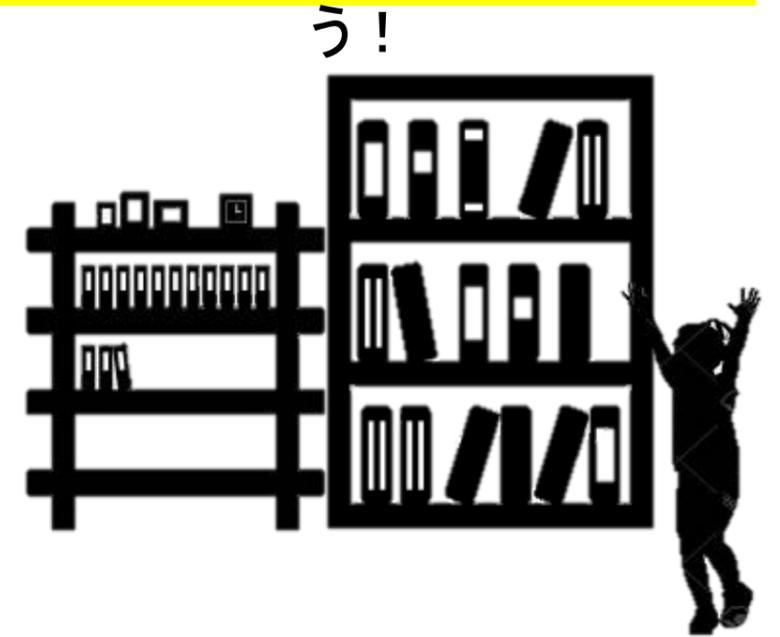


## 楽しみ方

- ・宇久島に本を持ってきて読書を楽しむ！
- ・宇久島にある本で読書を楽しむ！
- ・感想を記入・共有して楽しむ！
- ・本を宇久島に置いていく！
- ・さらに特典で楽しむ！



## みんなで「UKU本棚」を作ろう！



## 実現可能性

- ・島民で本を読む人は多い！  
→たくさんの眠っている本も！（島民インタビューより）
- ・空き施設で拠点が作れる！  
→みんなで作るUKU本棚を旧保育園に！！  
休憩スポットにも！
- ・本棚設置に協力してくださる方！  
→あられ茶房、毘沙門寺、スゲ浜海水浴場  
※以下検討中  
宇久島観光協会、金毘羅荘(民泊)、  
大浜海水浴場、旧ふたば保育所